



重点品目野菜について病害虫の予防の徹底を図りましょう!

農薬散布される前には必ず防除日誌を確認し、使用回数等使用基準を厳守!

●白ねぎ

防除の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期・回数
8月下旬	アザミウマ類・ネギコガ ネギハモグリバエ	ディアナSC	2,500~5,000倍	収穫前日まで 2回以内
	さび病・べと病 黒斑病・葉枯病	テーク水和剤 ^注	600倍	収穫14日前まで 3回以内
	ボトリチス葉枯症 黒斑病	ロブラール水和剤	1,000~1,500倍	収穫14日前まで 3回以内

注テーク水和剤はジマンダイセン水和剤やモンガリット粒剤等と使用回数が共通のため注意

○ボトリチス葉枯症・さび病は、出荷する葉にも影響がありますので防除の徹底をお願いします。

防除の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期・回数
9月中下旬	アザミウマ類・ネギコガ さび病・べと病	ハチハチ乳剤 ^注	1,000倍	収穫7日前まで 2回以内
	ボトリチス葉枯症・黒斑病	ロブラール水和剤	1,000~1,500倍	収穫14日前まで 3回以内

ねぎの夏休み後の土寄せは最高気温が30℃下回る時期になって行ってください! (軟腐対策)

●ナス

防除の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期・回数
8月下旬~ 9月上旬	ハスモンヨトウ・オオタバコガ	フェニックス顆粒水和剤	2,000~4,000倍	収穫前日まで 3回以内
	うどんこ病・すすかび病	アミスター20フロアブル	2,000倍	収穫前日まで 4回以内
強風等の後	褐色腐敗病	ホライズンドライフロアブル	2,500倍	収穫前日まで 3回以内
		ランマンフロアブル	2,000倍	収穫前日まで 4回以内

※褐色腐敗病は昨年も発生しております! 収穫時には病斑に気がつきにくいので予防的に農薬散布をしましょう。

●ミニトマト

防除の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期・回数
9月上旬	オオタバコガ・ハモグリバエ類	プレオフロアブル	1,000倍	収穫前日まで 2回以内
	灰色かび病・葉かび病 斑点病・すすかび病	アフェットフロアブル	2,000倍	収穫前日まで 3回以内
	灰色かび病・葉かび病 斑点病・すすかび病	ファンタジスタ顆粒水和剤	2,000倍~3,000倍	収穫前日まで 3回以内

※例年単価が高い9月出荷にむけ、トマトーンの使用(200倍液)を丁寧に行いましょう。

※気温が低下し、日射が弱まる気候になったら「遮光資材」を取り除きましょう。

※10日に1回はカキパック等(500倍液)のカルシウム剤の散布をしましょう。

●ピーマン

防除の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率 / 散布量	使用時期・回数
9月上旬	タバコガ類・アザミウマ類	プレオフロアブル	1,000倍	収穫前日まで 2回以内
	うどんこ病・斑点細菌病・斑点病	カスミンボルドー	1,000倍	収穫前日まで 5回以内

※雨が多い時期はヘタの部分の傷みに注意して出荷をお願いします。

※10日に1回はカキパック等(500倍液)のカルシウム剤の散布をしましょう。

●広島菜【8月下旬~9月上旬定植】

「定植の適期は播種後20日!!」定植が遅くならないよう圃場準備は早めにしましょう。

防除の時期	対象病害虫	農薬名	散布量	使用時期・回数
植付前	根こぶ病	ダイアジノン粒剤5	20~30kg/10a 全面土壌混和	播種又は定植前 2回以内

定植時にネキリムシの対策を忘れずに行ってください!!

防除時期	対象病害虫	農薬名	散布量	使用時期・回数
植付時	ダイコンハムシ	ダイアジノン粒剤5	6kg/10a 全面土壌混和	定植時 1回

●ブロッコリー【7~8月定植】

予防の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率 / 散布量	使用時期・回数
8月下旬~ 9月上旬	アオムシ・コナガ・ヨトウムシ	ディアナSC	2,500~5,000倍	収穫前日まで 2回以内
	軟腐病・黒斑細菌病	スターナ水和剤	2,000倍	収穫14日前まで 2回以内
	菌核病・黒すす病 べと病	シグナムWDG	1,500倍 1,500~2,000倍	収穫7日前まで 2回以内

○散布については、使用時期、使用方法を守り、予防的防除を心がけましょう。詳しくは、営農指導員へご相談ください。また、右記二次元コードからJAしまね島根おちのホームページからでも確認ができます。

